

自分ごと・自分から・主体的に!

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



## 「脳科学の知見を活かし加点法で伸ばす」

校長 高柳 政行

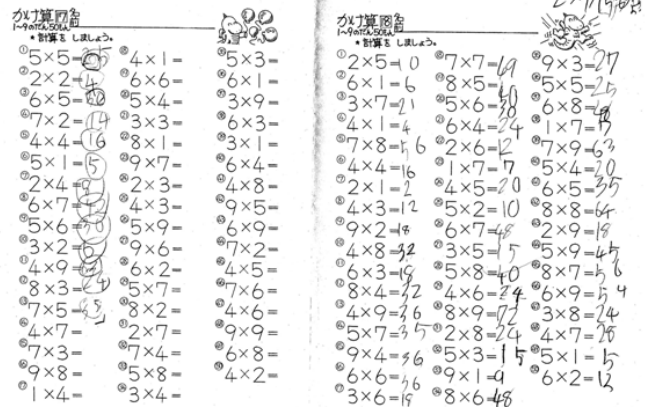
脳科学者によると、脳には汎化という特徴があり、何か一つの能力が伸びるとそれに直接関係しない部分の能力も伸びるといいます。何か一つの分野に集中して取り組むと、脳内でそれに関連する神経細胞のネットワークが強化され、それにつられて他のいろいろな部分のネットワークも最適化されるため起こる現象だと考えられています。

つまり、何か一つでも秀でた能力があったり、自分から頑張ったりやれたりしたことがあると、それにつられてその他の能力も底上げされたり、他のことも頑張れたり、脳全体の機能がアップし、勉強ができるようになる、生活力も上がるということにつながるのです。周囲が、減点法ではなく、得意なこと、今できていること、できかかっていることに注目した加点法で子ども達と関わるのが大切だと分かってくるはず。そして、そうすることで、子ども達は自信をもち、自ら苦手なことにも挑戦していく力が湧いてくるのではないのでしょうか。

1学期が始まり3週間が経過しようとしています。下記の計算プリントはある児童が取組んだものです。1回目は2分以上かかっても13問、2回目は2分15秒で50問達成。この児童は、教師の心に響く励ましの声でやる気スイッチが入ってがんばったのです。その後、国語の漢字学習の時でした。漢字ドリルに書いた漢字に担任から大きな丸を付けてもらった直後「集中して丁寧に書いたから一発合格だった」とつぶやき笑顔で席にもどってきました。私はその様子を見て嬉しくなり、脳の中でどんなことが起こっているのか想像しました。

私たち教職員は、子ども達を教え導く以上に、子ども達から学び、子ども達が自ら伸びようとする背中を、そっと押したり、支えたり、見守ったりすることを大事にしていきます。

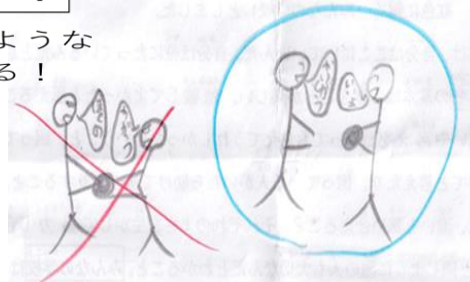
脳科学の知見も参考にしつつ、保護者・地域の皆様も私たち教職員と共に手を取り合い、子ども達一人一人の伸びようとする力を信じ、励ましていきましょう。是非ともご理解・ご協力をお願いいたします。



### 自分ごと・自分から・主体的に!



毎日のように虹がかかったような楽しくて明るい学校にする!



● 全員があいさつしたらいい!

● けんかゼロ、仲良くゆずり合う!

● 休み時間に他の学年と交流するのがいい。たてわりに力を入れたい。

● 校長先生あのねボックスに「笑顔・感動いっぱい虹色に輝くみんなの学校」にするためのアイデア（絵や言葉）を寄せてくれました。これからも投書待ってます。相談事もOKです。

